

関西のブランド力向上の取組のモデル実施について

平成 21 年 8 月に決定された近畿圏広域地方計画において、多様で厚みのある文化の集積を活かして、我が国を代表し牽引する役割を担う圏域の形成を目指す『文化首都圏プロジェクト』で取組の一つとして、関西の本物の資源、「ほんまもん」を活かした「関西ブランド」の創造が位置づけられています。

その具体化に向けて、具体的な取組のあり方、とりわけ関西ブランドとなりうる具体の地域資源・取組の選定手法とそれらに対する支援等について、広域地方計画協議会構成機関で構成された「関西のブランド力向上に関する検討会」による検討が行われ、今般、検討結果をとりまとめましたので、公表いたします。

検討の結果、「関西ブランド」を創造する手法として、関西各地に存在する本物の資源を活かした地域づくりやものづくり等に関する多様な取組について、**特定のテーマ※毎に一括りにし**、そのテーマに沿った連携事業・情報発信・イベントなどを、関西が一丸となって、**テーマ毎に年次を定めて順次行っていく取組**が、提案されました。

今後、この提案の効果を検証するため、**平成 23 年度以降、こうした取組をモデル実施**することに向け、**「関西のブランド力向上推進のための準備会」を設立することについて、6 月 23 日に開催された近畿圏広域地方計画協議会幹事会で了承**されました。（本年 7 月上旬に設立を予定）

このような取組を契機とし、関西の企業・住民・公的機関が幅広くかつ広域的に連携して地域づくりへ参加することによって、関西発の観光立国や関西の産業への投資や需要の拡大が実現し、関西が、わが国を牽引する文化首都圏となることを目指します。

※ テーマの一例として、「茶の文化」や「水と生きるまち・関西」等が想定されています。